

香南市保幼小中連携カリキュラム



いろいろな経験を通して

「コミュニケーション能力」「規範意識」「自尊感情」が育っていきます。

コミュニケーション能力

保育所・幼稚園		小学校		中学校	
0・1・2歳児	3・4・5歳児	低学年	中学年	高学年	1・2・3年
特徴的な発達の ③②① 他者との関係 から世代と異世代との関係	<ul style="list-style-type: none"> ①親が子どもの要求に応えることによって、信頼感が形成される。 ②自己主張が強まり、欲求がぶつかっていざが増える。 ③人見知りがはじまる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親から受け入れてもらうことによって、さらに積極的に行動しようとする。 ②次第に相手の立場を考え、周囲の人を理解するようになる。 ③先生や友だちに親しみをもち、友だちと遊ぶことが楽しくなる。 ④親以外の大人(例えば教師)の指導に基づいて社会的な体験をする。 ⑤集団の中で自己主張するようになる。しかし、相手のことを考えるのはまだ難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関心が親から仲間へ移る。 ②友だち関係が広がり、周囲の人への関心が高まる。 ③親離れが進み、同性の親友をもつようになる。 ④自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ⑤視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親離れが進む。 ②友だちの気持ちを理解し、思いやりができるようになり、自分の立場や目的を考へて話すのが得意な児童と苦手な児童の差が大きくなる。 ③自己コントロールが難しく、学校や学級以外に興味を持ち、問題行動に陥る児童が多い。 ④自分の気持ちを聞いてもらいたい児童が多く、このため学級担任は1対1の対応を迫られる。 ⑤場に応じた話し方や、行動の仕方が分らない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親と距離を置きたいと思うようになり、自主的な判断を行おうとする。 ②自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ③上級生としてのリーダーシップをとることができるようになる。 ④視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。
子どもたちの課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●親に受け入れられず、寂しい思いをして上手に自己表現できない子どもがいる。 ●自分の思いを親しい大人に伝えたり、簡単な言葉のやりとりを楽しんでいる。 ●人を警戒するが、見慣れた人には積極的に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の思いよりも友だちや大人の思いに合わせようと我慢してしまうこともある。 ●一方的な主張が多く、譲ろうとしない面も見られるが、友だちと楽しく遊んでいる。 ●間わりたい思いはあるが、言葉よりも行動や態度で表すことがあり、そこからけんかにならしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いを理解して、自分の気持ちを伝えることができない。 ●思いが通じない時に、手がでたり、トラブルになったりする。 ●自分の気持ちを聞いてもらいたい児童が多く、このため学級担任は1対1の対応を迫られる。 ●自分の思いを伝えることが困難で、友だちとの関係づくりが難しく、学級に入れなくななる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●決まった友だちや大人としか話ができない。 ●相手の立場や目的を考へて話すのが得意な児童と苦手な児童の差が大きくなる。 ●育ちの中で語彙が少なく、攻撃的な言葉遣いが目立つ生徒がいる。 ●言葉で互いに理解することや、場面に応じた対応が苦手な傾向があり、人間関係、友人関係をつくることが上手でない生徒が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いを理解して、自分の気持ちを伝えることができない。 ●手がでたり、トラブルになったりする。 ●自分の気持ちを聞いてもらいたい児童が多く、このため学級担任は1対1の対応を迫られる。 ●自分の思いを伝えることが困難で、友だちとの関係づくりが難しく、学級に入れなくななる児童もいる。
発達に応じて定着させたい力	<ul style="list-style-type: none"> ●安心できる大人との信頼関係により、情緒が安定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集団の中で相手のことを考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の立場や自分の立場を考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手を意識して自分の立場を考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手に応じたコミュニケーションができる。 ●自分と友だちとの理解が深くなり、人にはいろいろな考え方があることを理解するようになる。
行動	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の欲求・思いを安心して親や友だちに伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友だちの気持ちに気づき、自分の思いを相手にわかるように伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●話を良く聞くようとする態度を身につけようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の気持ちを理解しながら聞き、出された意見を比較したり、整理したりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はっきりとした意思表示ができる。 ●言葉遣いに気をつけ、自分の思いや考え方を話すことができる。 ●相手や場面に応じて自分の気持ちを伝え、理解を取ることができる。 ●相手の意見を受け止め、自分の考えを自分の言葉で語れるようになる。 ●相手の意見を取り入れたり、折り合いをつけたりすることができる。
日常的なかかわり・視点	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の甘えや欲求が十分満たされるよう、受容と応答的な関わりをする。 ●言葉で表現できない欲求を読み取り、共感的な関わりで子どもの自己主張を助ける。 ●友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に教える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人と丁寧にあいさつを交わすなど、生活に必要な言葉がわかるようになる。 ●気持ちをわかるように伝えたり、友だちとのふれあいが楽しくなるようにする。 ●活動意欲を十分に満足させるように環境を整え、子どもの興味や自発性を大切にする。 ●けんかの場面では、自分の主張を抑制すると楽しく遊べることに気づかせるなど、葛藤を乗り越えられるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●きちんと返事やあいさつができるようになる。 ●自分の思いを伝える言語活動を多く取り入れる。(嬉しかったこと・嫌だったこと) ●友だちの意見を体を向け、心でしっかり聞く態度が身につくようにする。 ●当番や係り活動を通して、自分の役割を知り、みんなのために進んで活動できる場面を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●心のこもったあいさつができるようになる。 ●授業での学びいや体験発表の場面を多くもつ。 ●学級や学校の一員であることを自覚し、いろいろな人と協力できる場面を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●TPOに応じたあいさつができるようになる。 ●授業での学びいや体験発表の場面を多くもつ。 ●当番や係り活動を通して、自分の役割を知り、みんなのために進んで活動できる場面を工夫する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本の読み聞かせをする 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもを地域活動に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親子の会話、ふれあいを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムを整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムを整える。 ●家庭における基本的なルールや親子の約束をつくめる。 ●してよいことや、しなければならないこと、してはならないことについて指導する。

規範意識

保育所・幼稚園		小学校		中学校	
0・1・2歳児	3・4・5歳児	低学年	中学年	高学年	1・2・3年
特徴的な発達の ③②① 他者との関係 から世代と異世代との関係	<ul style="list-style-type: none"> ①親が子どもの要求に応えることによって、信頼感が形成される。 ②自己主張が強まり、欲求がぶつかっていざが増える。 ③人見知りがはじまる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親から受け入れてもらうことによって、さらに積極的に行動しようとする。 ②次第に相手の立場を考え、周囲の人を理解するようになる。 ③先生や友だちに親しみをもち、友だちと遊ぶことが楽しくなる。 ④親以外の大人(例えば教師)の指導に基づいて社会的な体験をする。 ⑤集団の中で自己主張するようになる。しかし、相手のことを考えるのはまだ難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親離れが進む。 ②友だち関係が広がり、周囲の人への関心が高まる。 ③親離れが進み、同性の親友をもつようになり、自主的な判断を行おうとする。 ④自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ⑤視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親と距離を置きたいと思うようになり、自主的な判断を行おうとする。 ②自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ③上級生としてのリーダーシップをとることができるようになる。 ④視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親離れが進む。 ②友だち関係が広がり、周囲の人への関心が高まる。 ③親離れが進み、同性の親友をもつようになり、自主的な判断を行おうとする。 ④自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ⑤視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。
香南市の子どもたちの課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●親に受け入れられず、寂しい思いをして上手に自己表現できない子どもがいる。 ●自分の思いを親しい大人に伝えたり、簡単な言葉のやりとりを楽しんでいる。 ●人を警戒するが、見慣れた人には積極的に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の思いよりも友だちや大人の思いに合わせようと我慢してしまうこともある。 ●一方的な主張が多く、譲ろうとしない面も見られるが、友だちと楽しく遊んでいる。 ●間わりたい思いはあるが、言葉よりも行動や態度で表すことがあり、そこからけんかにならしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いを理解して、自分の気持ちを伝えることができない。 ●手がでたり、トラブルになったりする。 ●自分の気持ちを聞いてもらいたい児童が多く、このため学級担任は1対1の対応を迫られる。 ●自分の思いを伝えることが困難で、友だちとの関係づくりが難しく、学級に入れなくななる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いを理解して、自分の気持ちを伝えることができない。 ●手がでたり、トラブルになったりする。 ●自分の気持ちを聞いてもらいたい児童が多く、このため学級担任は1対1の対応を迫られる。 ●自分の思いを伝えることが困難で、友だちとの関係づくりが難しく、学級に入れなくななる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いが理解できず、自己コントロールもできないために、暴力や暴言となる児童がいる。 ●育ちの中で語彙が少なく、攻撃的な言葉遣いが目立つ生徒がいる。 ●言葉で互いに理解することや、場面に応じた対応が苦手な傾向があり、人間関係、友人関係をつくることが上手でない生徒が増加している。
発達に応じて定着させたい力	<ul style="list-style-type: none"> ●安心できる大人との信頼関係により、情緒が安定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集団の中で相手のことを考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の立場や自分の立場を考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手を意識して自分の立場を考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手に応じたコミュニケーションができる。 ●自分と友だちとの理解が深くなり、人にはいろいろな考え方があることを理解するようになる。
行動	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の欲求・思いを安心して親や友だちに伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●友だちの気持ちに気づき、自分の思いを相手にわかるように伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●話を良く聞くようとする態度を身につけようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の気持ちを理解しながら聞き、出された意見を比較したり、整理したりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はっきりとした意思表示ができる。 ●言葉遣いに気をつけ、自分の思いや考え方を話すことができる。 ●相手や場面に応じて自分の気持ちを伝え、理解を取ることができる。 ●相手の意見を受け止め、自分の考えを自分の言葉で語れるようになる。 ●相手の意見を取り入れたり、折り合いをつけたりすることができる。
日常的なかかわり・視点	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の甘えや欲求が十分満たされるよう、受容と応答的な関わりをする。 ●言葉で表現できない欲求を読み取り、共感的な関わりで子どもの自己主張を助ける。 ●友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に教える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人と丁寧にあいさつを交わすなど、生活に必要な言葉がわかるようになる。 ●気持ちをわかるように伝えたり、友だちとのふれあいが楽しくなるようにする。 ●活動意欲を十分に満足させるように環境を整え、子どもの興味や自発性を大切にする。 ●けんかの場面では、自分の主張を抑制すると楽しく遊べることに気づかせるなど、葛藤を乗り越えられるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●きちんと返事やあいさつができるようになる。 ●自分の思いを伝える言語活動を多く取り入れる。 ●当番や係り活動を通して、自分の役割を知り、みんなのために進んで活動できる場面を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●TPOに応じたあいさつができるようになる。 ●授業での学びいや体験発表の場面を多くもつ。 ●当番や係り活動を通して、自分の役割を知り、みんなのために進んで活動できる場面を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●心のこもったあいさつができるようになる。 ●授業での学びいや体験発表の場面を多くもつ。 ●当番や係り活動を通して、自分の役割を知り、みんなのために進んで活動できる場面を工夫する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本の読み聞かせをする 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもを地域活動に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親子の会話、ふれあいを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムを整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムを整える。 ●家庭における基本的なルールや親子の約束をつくめる。 ●してよいことや、しなければならないこと、してはならないことについて指導する。

自尊感情

保育所・幼稚園		小学校		中学校	
0・1・2歳児	3・4・5歳児	低学年	中学年	高学年	1・2・3年
特徴的な発達の ③②① 他者との関係 から世代と異世代との関係	<ul style="list-style-type: none"> ①親が子どもの要求に応えることによって、信頼感が形成される。 ②自己主張が強まり、欲求がぶつかっていざが増える。 ③人見知りがはじまる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親から受け入れてもらうことによって、さらに積極的に行動しようとする。 ②次第に相手の立場を考え、周囲の人を理解するようになる。 ③先生や友だちに親しみをもち、友だちと遊ぶことが楽しくなる。 ④親以外の大人(例えば教師)の指導に基づいて社会的な体験をする。 ⑤集団の中で自己主張するようになる。しかし、相手のことを考えるのはまだ難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親離れが進む。 ②友だち関係が広がり、周囲の人への関心が高まる。 ③親離れが進み、同性の親友をもつようになり、自主的な判断を行おうとする。 ④自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ⑤視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親と距離を置きたいと思うようになり、自主的な判断を行おうとする。 ②自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ③上級生としてのリーダーシップをとることができるようになる。 ④視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①親離れが進む。 ②友だち関係が広がり、周囲の人への関心が高まる。 ③親離れが進み、同性の親友をもつようになり、自主的な判断を行おうとする。 ④自分の考え方や立場に固執する傾向があり、意見の対立や摩擦が生じやすい。一方、孤立しないために自分の意見を言わばず相手の意見に合わせる傾向も見られる。 ⑤視野が広がり、学校全体や地域のことを考えることができるようになる。
香南市の子どもたちの課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●親に受け入れられず、寂しい思いをして上手に自己表現できない子どもがいる。 ●自分の思いを親しい大人に伝えたり、簡単な言葉のやりとりを楽しんでいる。 ●人を警戒するが、見慣れた人には積極的に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の思いよりも友だちや大人の思いに合わせようと我慢してしまうこともある。 ●一方的な主張が多く、譲ろうとしない面も見られるが、友だちと楽しく遊んでいる。 ●間わりたい思いはあるが、言葉よりも行動や態度で表すことがあり、そこからけんかにならしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いを理解して、自分の気持ちを伝えることができない。 ●手がでたり、トラブルになったりする。 ●自分の気持ちを聞いてもらいたい児童が多く、このため学級担任は1対1の対応を迫られる。 ●自分の思いを伝えることが困難で、友だちとの関係づくりが難しく、学級に入れなくななる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の思いが理解できず、自己コントロールもできないために、暴力や暴言となる児童がいる。 ●育ちの中で語彙が少なく、攻撃的な言葉遣いが目立つ生徒がいる。 ●言葉で互いに理解することや、場面に応じた対応が苦手な傾向があり、人間関係、友人関係をつく	